

■ ABSTRACT OF JAPANESE PATENT PUBLICATION No. 45-22689

An object of the present invention is to provide a slide fastener allowing a fastener link to be fixed to an empty space of a support band without sewing.

The present invention relates to a slide fastener having a coiled fastener link chain made of a monofilament of synthesized rosin. The fastener link having a connection head is, for example, inserted into the support band from a cut portion where a warp is not provided, and a projection of a support band lap is bended at both sides of the fastener link. According to an aspect of the present invention, the fastener link chain has a fixture moving in a longitudinal direction relative to the fastener so that the fastener link chain is fixed to the cut portion of the support band.

⑤日本分類
121 A 354

日本国特許庁

⑪特許出願公告

昭45-22689

⑩特許公報

④公告 昭和45年(1970)7月31日

発明の数 4

(全6頁)

1

2.

⑤スライドフアスナ

⑪特 願 昭42-51656

⑫出 願 昭42(1967)8月11日

優先権主張 ⑬1966年8月13日⑭ドイツ
国⑮O11883

⑯発 明 者 アルフオンス・フレリツヒ
ドイツ国エツセン・フェッダース
ハンク5

⑰出 願 人 オプチ・ホールディング・アクチ
エンゲゼルンヤフト 10
スイス国グラルス・ブルク・シュト
ラーセ24

代 表 者 マックス・オット

代 理 人 弁理士 野波俊次

図面の簡単な説明

本発明によるスライドフアスナの実施例を示す添附図面において、第1図は、本発明によるスライドフアスナの半分の上面図、第2図は、第1図によるスライドフアスナの線A-Aで切った断面図、第3図は第1図によるスライドフアスナを矢印Bの方向から見た図、第4図は、第1図によるスライドフアスナの別の構成例、第5図は、第4図によるスライドフアスナの線C-Cで切った断面図、第6図は、第4図によるスライドフアスナを矢印Dの方向から見た図、第7図は本発明による完全なスライドフアスナの上面図、第8図は、第7図によるスライドフアスナの線E-Eで切った断面図である。

発明の詳細な説明

種々の構成をもつたスライドフアスナが知られている。特に合成樹脂モノフィラメントからなるらせん状のフアスナリンク鎖を有するスライドフアスナは公知である。この種のスライドフアスナにおいて、アスナリンク鎖のフアスナリンクには結合頭部が設けられており、このフアスナリンクは、たとえば、経糸のないすき間からなる切欠部

を通じて支持帯に挿入されている。また支持帯のラップの突出部は、両側においてフアスナリンク鎖の方に折曲げられている。その際このラップは一方では被覆部を構成し、かつ他方では縫い代をなしている。

以上のような種類の公知のスライドフアスナにおいて、各支持帯のラップは、ラップ相互間ならびに、ラップ付属したフアスナリンク鎖との間には刺縫、二重鎖縫い等によつて縫い合せてある。このことは少なくとも製造技術的に不利である。

しかし上記のような公知のスライドフアスナにおいては縫合をしないと、支持帯の切欠部にあるフアスナリンクおよび支持帯付属のフアスナリンク鎖には横方向の抑えがなくなり、フアスナリンクは切欠部からすべり出し、従つてスライドフアスナは使用不能となる。

従つて本発明の目的は、縫合という手段を使わずに、フアスナリンクを支持帯の空所に固定することのできるスライドフアスナを提供することにある。

本発明は、合成樹脂モノフィラメントからなるコイル状のフアスナリンク鎖を有するスライドフアスナにかゝわる。その際結合頭部を有するフアスナリンクは、例えば支持帯の経糸のない間隙により形成された切欠部を通じて挿入され、そして支持帯ラップの突出部はフアスナリンク鎖の両側に折曲げてある。本発明の特徴によりフアスナリンク鎖は、フアスナに対して縦向きに走行する固定部材を有し、かつこれによつてフアスナリンク鎖は支持帯の切欠部に固定されている。

本発明の範囲内において、種々の変形が可能である。本発明による構成の一実施形態は製作技術の単純化という点ですぐれており、その特徴は固定部材がフアスナリンクに成形されていることである。その製造の場合にまず、合成樹脂モノフィラメントでフアスナリンク鎖を作りこのフアスナリンクを支持帯の切欠部に挿入した後、例えば仕上つたスライドフアスナ或はスライドフアスナの

両半分の縦方向に作用する工具によつて、固定部材をフアスナリンクに成形すればよい。しかし他の方法によつて固定部材をフアスナリンクに追加的に設けることもできる。例えば製造前又は製作中に合成樹脂モノフィラメントで固定部材を設けることもできる。

また、補足的な構成要素を固定部材として設け、これをフアスナリンクとに結合することもできる。固定を確実にするために、本発明の実施形態において固定部材は、スライドフアスナの上部を縦方向に走行する固定索として構成され、かつフアスナリンクと結合される。この場合も例えばプレスや熱を加えたり、工具を用いることによつて、固定索を成形することができる。フアスナリンク鎖をつくりかつフアスナリンクを支持帯の切欠部に挿入した後、この種の工具で支持帯切欠部を加圧成形する。この点に関して、本発明の他の特徴により、固定索は支持帯から見て結合頭部側に、フアスナリンクの片側あるいは両端に置かれ、かつフアスナリンクと結合される。とくに固定索が合成樹脂モノフィラメントからなつていて溶接によつてフアスナリンクと結合される場合には、上記のような連結は特に簡単である。

本発明の他の重要な特徴は、補足的な構成要素という形での固定索に関する。すなわち固定索は支持帯の前面で結合頭部側にフアスナリンクに挿入されており、場合によつて追加的にフアスナリンクに連結されるという特徴を有する。また固定部材特に固定索をスライドフアスナ面でフアスナリンクが横ずれするのを同時に抑えるために利用し、その目的に応じるような寸法形状にすることもできる。

本発明によつて得られる利点は、とくに本発明によるスライドフアスナにおいては、縫合せずに支持帯の空所にフアスナリンクをしつかり留めておくことができるという点にある。この場合、背側の止めは結合片によつてなされるがこの結合片はらせん状のフアスナリンク鎖の各螺条を結び合わせている。しかし上述の手段と併用して、とくにまた固定部材の寸法形状をスライドフアスナ面におけるフアスナリンクの横ずれを防止する目的を同時に達成するように定めるという手段を併用して、更にフアスナリンク鎖に中空でない芯を埋込むこともできる。この芯は他の方向における固定を可能にする作用を有する。まさにこの手段によ

つて、支持帯に付属するフアスナリンクは全部の方向でしつかり固定され、充填軸および固定部材を介して縦方向に固定される。従つて上記の手段を加えることによつて、強い閉鎖力と破壊強度とをもつたすぐれたスライドフアスナが得られる。

以上に述べたように、本発明によるスライドフアスナは、(i)合成樹脂製モノフィラメントからなるフアスナリンク鎖をもち、(ii)その際このフアスナリンク鎖において結合頭部を有するフアスナリンクは例えば経糸のないすき間によつて形成された支持帯切欠部に挿入され、(iii)支持帯ラップの突出部は、フアスナリンク鎖の両端において、フアスナリンク鎖に固定されている構成のスライドフアスナである。本発明によるスライドフアスナの特徴を列記すると次の通りである。

- 1 フアスナリンクは固定部材 7 を有し、この固定部材はフアスナに対して縦方向に走行し、これによつて支持帯 5, 6 の切欠部に固定されていること。
- 2 第 1 項のスライドフアスナにおいて、固定部材 7 がフアスナリンク 2 に成形されていること。
- 3 第 1, 2 項のスライドフアスナにおいて、固定部材 7 は、スライドフアスナの全長に伸びた固定索として構成され、かつフアスナリンク 2 と結合されていること。
- 4 第 1 - 3 項のスライドフアスナにおいて、固定部材 7 は、支持帯 5, 6 の前方の結合頭部側の片側または両側において、フアスナリンク 2 の上に位置し、かつフアスナリンクと結合されていること。
- 5 第 1 - 4 項のスライドフアスナにおいて、固定部材 7 は合成樹脂製モノフィラメントからなりかつフアスナリンク 2 と溶接されていること。
- 6 第 1 - 3 項および第 5 項のスライドフアスナにおいて、固定部材 7 は支持帯 5, 6 の前方の結合頭部側において、フアスナリンク 2 に埋込まれかつ必要に応じて、さらにフアスナリンク 2 に追加的に結合されていること。
- 7 第 1 - 6 項のスライドフアスナにおいて、固定部材とくに固定索 7 は同時に、スライドフアスナの平面におけるスライドフアスナ 2 の横ずれを防止するような形状寸法を有すること。
- 8 第 1 - 7 項のスライドフアスナとくに第 6 項のスライドフアスナにおいて、フアスナリンク 1 には埋込まれた芯が設けられていること。

図面に示したスライドフアスナの実施例において、らせん状のフアスナリンク鎖1を形成する合成樹脂製モノフィラメントの断面は、円形もしくは円形である。フアスナリンク2は結合頭部3を有し、例えば支持帯の経糸のない間隙に形成されている切欠部4を通じて挿入されている。支持帯ラップの突出部はフアスナリンク鎖の方に折り曲げてあり、その際ラップの突出部は、一方側においては被い5となり他方側においては縫代6となつている。本発明によれば、フアスナリンク鎖1の固定部材7はフアスナに対して縦向きに走行し、これによつて支持帯5、6の切欠部4に保持されている。固定部材7と、フアスナリンクに付加成形することができる。しかし本実施例においては、構成要素として追加的に設けられた固定部材7を示している。この場合、固定部材7はスライドフアスナの全長に伸びた固定索として構成され、フアスナリンク2と結合されている。

従つて第1図から第3図までにおいて固定索7は支持帯5、6の前面にフアスナリンクの結合頭部側に位置し、これと結合されている。

第3図から第6図までの構成の場合は、固定索7は、支持帯5、6の前面で結合頭部側よりフアスナリンク2、すなわち成形されたコイルのらせん中に挿入され、場合によつては更にこれと結合されている。一般には、固定索7を合成樹脂モノフィラメントで作し、その後フアスナリンク2と溶接することができる。しかし原則的に他の方法でも、例えば接着等の方法で結合することもできる。

第7図および第8図から明らかなように、固定部材7、特に固定索は、同時にスライドフアスナのフアスナリンク2の横ずれを防ぐように構成することができる。すなわちこのような横ずれの場合には、スライドフアスナの両半分の固定部材は相互に押し合う。以上の構成に加えて、すべての実施例に示されているように、さらに追加的にフアスナリンク鎖1が埋込まれた充填軸8を備えるようにすれば、とくに破壊強度の大きいスライドフアスナを得ることができる。実施例に示したスライドフアスナはらせん状のフアスナリンク鎖を有するが、本発明はこれに限定されるものではない。

特許請求の範囲

1 (a)フアスナリンク鎖は固定部材を有し、この

固定部材はフアスナに対して縦方向に走行し、これによつて支持帯の切欠部に固定されていることを特徴とする、

(b)、(i)合成樹脂製モノフィラメントからなるフアスナリンク鎖をもち、(ii)その際このフアスナリンク鎖において、結合頭部を有するフアスナリンクは、例えば経糸のないすき間によつて形成された支持帯切欠部に挿入され、(iii)支持帯ラップの突出部はフアスナリンク鎖の両側においてフアスナリンク鎖に固定されている構成のスライドフアスナ。

2 (a)フアスナリンク鎖は固定部材を有し、この固定部材はフアスナに対して縦方向に走行し、これによつて支持帯の切欠部に固定されていること

15 b 固定部材は支持帯の前方の結合頭部側の片側または両側において、フアスナリンク上に位置しかつフアスナリンクと結合されていることを特徴とする、

(c)、(i)合成樹脂製モノフィラメントからなるフアスナリンク鎖をもち、(ii)その際このフアスナリンク鎖において結合頭部を有するフアスナリンクは、例えば経糸のないすき間によつて形成された支持帯切欠部に挿入され、(iii)支持帯ラップの突出部はフアスナリンク鎖の両側においてフアスナリンク鎖に固定されている構成のスライドフアスナ。

3 (a)フアスナリンク鎖は固定部材を有し、この固定部材はフアスナに対して縦方向に走行し、これによつて、支持帯の切欠部に固定されていること、

30 (b)固定部材は支持帯の前方の結合頭部側において、フアスナリンクに埋込まれ、かつ必要に応じて、さらにフアスナリンクと追加的に結合されていることを特徴とする、

(c)、(i)合成樹脂製モノフィラメントからなるフアスナリンク鎖をもち、(ii)その際このフアスナリンク鎖において、結合頭部を有するフアスナリンクは、たとえば経糸のないすき間によつて形成された支持帯切欠部に挿入され、(iii)支持帯ラップの突出部はフアスナリンク鎖の両側においてフアスナリンク鎖に固定されている構成のスライドフアスナ。

4 (a)フアスナリンク鎖は固定部材を有し、この固定部材はフアスナに対して縦方向に走行し、これによつて、支持帯の切欠部に固定されていること

45 と

(4)

(4)

特公 昭45-22689

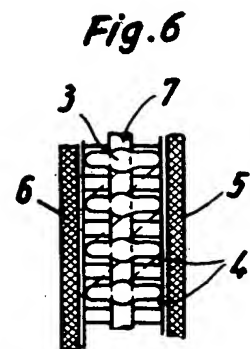
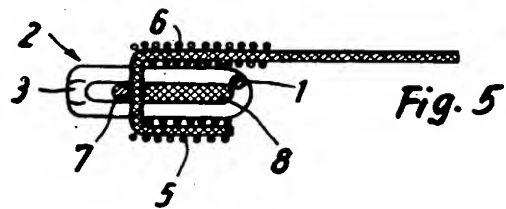
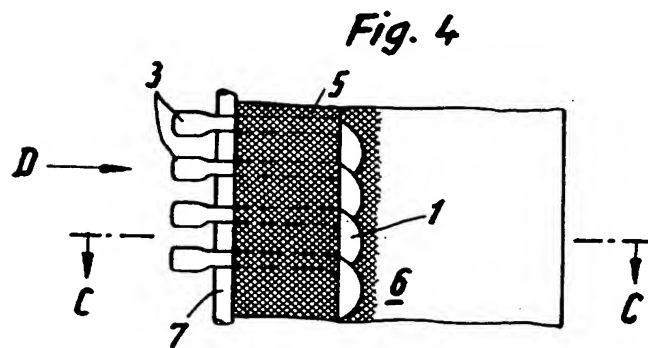
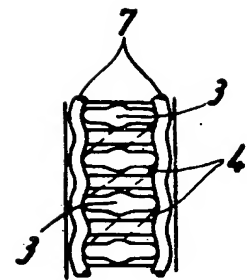
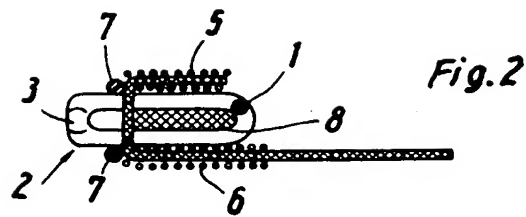
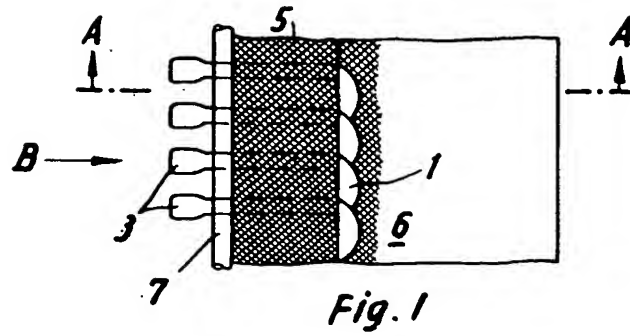
7

8

(b) 固定部材は支持帯の前方の結合頭部側において、フアスナリンクに埋込まれ、かつ必要に応じて、さらにフアスナリンクと追加的に結合されていること、

(c) フアスナリンク鎖は合成樹脂製モノフィラメントよりなる芯をもち、この芯は支持帯の結合頭部側まで充填する構成をもつことを特徴とする

(d)、(i) 合成樹脂製モノフィラメントからなるフアスナリンク鎖をもち、ロコの際このフアスナリンク鎖において、結合頭部を有するフアスナリンクは、例えば経糸のないすき間によつて形成された支持帯切欠部に挿入され、(ii) 支持帯ラップの突出部はフアスナリンク鎖の両側においてフアスナリンク鎖に固定されている構成のスライドフアスナ。



(6)

(6)

特公 昭 4 5 - 2 2 6 8 9

Fig. 7

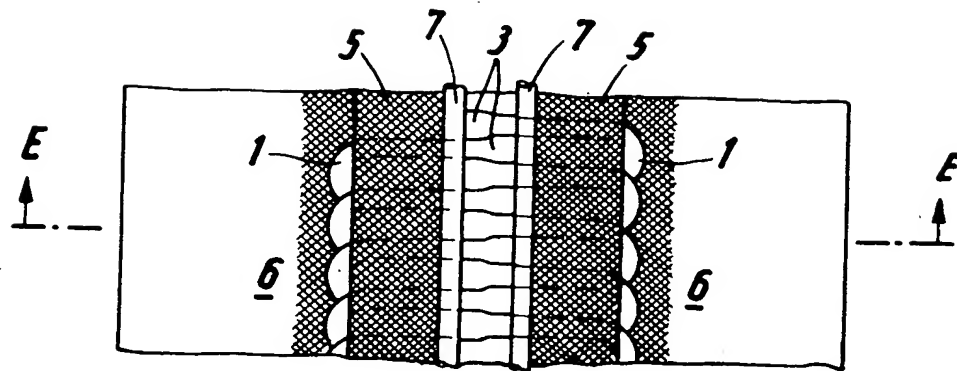


Fig. 8

